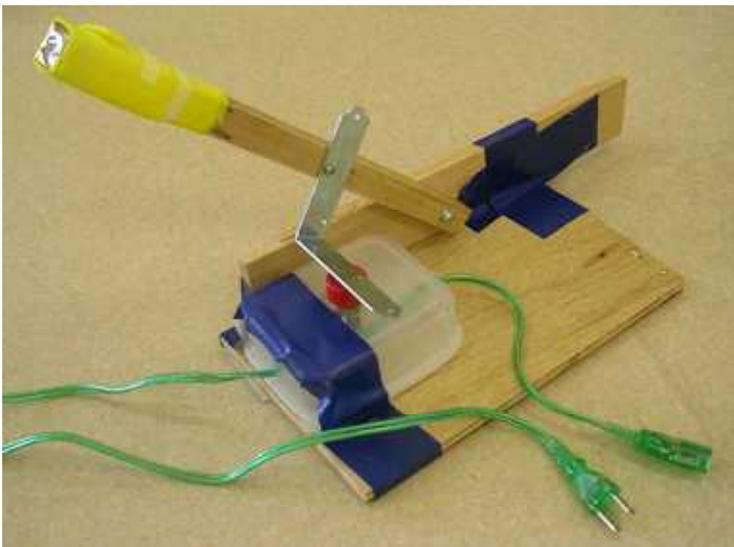


教材事例書式

教材教具名 レバー式スイッチ	教科(自立活動)	
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略(ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<p>1 ねらい</p> <p>楽しいことが起こる仕掛け等につながれたスイッチに、自分の力で働きかけることで反応が起こることやその因果関係に気づき、結果を出せる喜びを味わわせ、興味あることに主体的に意欲的に働きかけようとする。</p> <p>2 発達段階 肢体不自由等で細かな動きや操作が苦手な児童 小さなスイッチを操作することが手指機能的に難しかったり、認知的に難しい児童</p> <p>3 使い方</p> <p>交流100Vで動くミキサーや扇風機などのスイッチやクリスマスイルミネーションの点灯のスイッチなどONすることで大きな変化をすることができる物を、本スイッチにつなげ児童にスイッチON-OFFさせる。レバー(黄色い部分)を引くことでON、押しあげることでOFFになる。</p>		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等(次に利用する方のために)</p>		
<p>クリスマスイルミネーションなどではきれいな光と音が出るので大変喜んでスイッチ操作をしていた。</p> <p>改良点として握りの部分をT型にすることで、さらに動かし易くなる児童もいると思われる。</p>		